

研修担当者様、校内での回覧をお願いします。小1学級□□□→小2□□□→
小3 □□□→小4□□□→小5□□□→小6□□□→特別支援□□□
中1学級□□□□□→中2□□□□□→中3□□□□□→特別支援□□□□□

平成23年5月6日

小・中学校 校長 様

「鍛える国語教室」研究会（通称「鍛国研」）
代表 野口芳宏（植草学園大教授）

「鍛える国語教室」研究会（通称、「鍛国研」） 第1回全道大会（三笠大会） ——最終案内——

今、各教科等で「言語活動の充実」が求められている。なぜ、国語科だけでなく、各教科等にて、「言語活動の充実」が求められているのか。大きく、次の2つが理由である。

1 国語科の内容に言語活動が例示されている。したがって国語科では、言語活動が使われている。しかし、子供の言語活動は充実していない。それは国語科での指導が不十分だからである。国語科で言語活動を使い、それを充実させる指導が十分でなかった。だから、国語科だけに任せていけない。そこで、各教科等でも言語活動を使い、充実させる「言語活動の充実」が求められた。

2 「課題を解決するために」、「基礎的な知識及び技能」を「活用」させる。その際、言語活動が必須である。課題解決の結果等を言語活動にて「表現」させる授業により、「思考力、判断力、表現力その他の能力」を育成できるからである。

つまり、各学校での「言語活動の充実」を成立させる為の最優先課題は国語科授業改善なのである。国語科には、言語活動を「習得」させ、各教科等で「活用」させる使命がある。

これまでの国語科では、主に教材として使われている言語を指導してきた。これからの国語科では、教材や言語活動を通して、次の2つの言語を教科内容として指導すると授業が改善できる。

A 教材を通して、教材をより深く理解させる為に必要な言語。

B 言語活動を通して、言語活動を充実させる為に必要な言語。

このように、国語科授業では、指導方法として使う言語活動を、指導内容として扱う必要もある。つまり、AとBの両者の指導の欠落が国語科授業を長く低迷させてきた原因である。

このAとBの「国語科教科内容の二重構造」を意識し、授業化すれば、国語科授業を改善できる。

我々『「鍛える国語教室」研究会（通称、鍛国研）』では、上記のような主張の下、教材や指導法の開発に挑戦しています。例えば、次のような「向上的変容」を子供達全員に保障する指導法です。

1 使わせたい言語活動がある。その理想状態を教師が把握して、子供達に言語活動をさせてみる。

2 子供達の言語活動には、不備・不足・不十分がある。そこで、個々の抵抗と限界を探る。

3 個々の抵抗と限界の解決の為の事項を「学習用語」として指導し、理想状態に到らせる。

指導が必要な事項を「学習用語」と呼び、「学習用語」指導で国語科授業改善を実践しています。

言語活動を充実させる「学習用語」を国語科授業で「習得」させる。「習得」させた「学習用語」を各教科等で「活用」させる。すると、各教科等での言語活動や言語環境が充実するのです。

今回は小・中学校9学年へ「言語活動の充実」を保障する全領域の使える国語科授業を提案します。

授業者・児童生徒を募集します。自らの国語授業改善の為、授業者を希望される方は御連絡下さい。児童生徒が集まれば公開授業、集まらなければ模擬授業にします。当日を楽しみに御参加下さい。

どなたでも参加できます。お問い合わせの上、三笠小へ御参集下さい。心から、お待ちしております。

裏面も御覧下さい。内容等、詳細があります。

- 1 主催 「鍛える国語教室」研究会（通称「鍛国研」。代表 植草学園大教授 野口芳宏）
- 2 日時 1日目平成23年7月25日（月）13:00～16:50。2日目7月26日（火）9:30～16:15
- 3 事前受付締切日 平成23年7月8日（金）
- 4 場所 三笠市立三笠小学校（〒068-2161 北海道三笠市本郷町485-1, Fax 01267-2-2401。
学校への問合せは御遠慮下さい。問合せは下記のアドレスへパソコン・メールで願います。）
- 5 講師 野口芳宏（元北海道教育大教授、現植草学園大教授、千葉県教育委員）他
- 6 テーマ 各教科等での「言語活動の充実」に貢献する国語科モデル授業～子供の幸福を目指す為、「学習用語」を指導し、授業を改善しよう～
- 7 後援 北海道教育委員会（申請中）、北斗市教育委員会、七飯町教育委員会、三笠市教育委員会、旭川市教育委員会、深川市教育委員会、函館市教育委員会（決定）
- 8 内容（児童・生徒・授業者を公募する為、授業を実施できない学年も有り得ます。御容赦下さい。）

1日目 シンポジウム（三笠市立三笠小学校体育館）

13:00 御挨拶 三笠市教育長 富樫繁樹 様

第1部 基調講演1 『「言語活動の充実」に必須な「学習用語」指導』

- 13:10～13:55 第1提案 『「言語活動の充実」を保障する、よい授業の条件』 柳谷直明
 - 13:55～14:40 第2提案 『子供の幸福に貢献する「学習用語」指導』 野口芳宏
 - 14:50～15:35 第3提案 『これだけは指導したい！ 領域別「学習用語」例』 野口芳宏
- 第2部 パネル・ディスカッション 『「学習用語」の指導・習得・活用・普及の為に』
- 15:45～16:50 「学習用語」指導の成果と課題、改善策他

2日目 国語科モデル授業～指導時数1時間で完結する焦点精査的「学習用語」指導～

- 9:30～10:00 全体提案（体育館）『国語授業を改善するモデル授業の観点』 富樫忠浩
- 10:10～10:55 公開授業（又は模擬授業）1
 - ☆（言語文化）『天に のぼった おけやさん』（教出1年，1年1組教室）富樫忠浩
 - ☆（領域B）『友だちのこと、知りたいな』（光村2年，2年1組教室）富樫いずみ
 - ☆（領域C）『モチモチの木』（教出3年，3年1組教室）柳谷直明
 - ☆（領域A）『ポスターセッションで発表しよう』（教出4年，4年1組教室）渥美清孝
 - ☆（領域A）『わたしの「とっておきの一枚」』（東書5年，5年1組教室）太田 等
 - ☆（領域B）『グラフや表を引用して書こう』（光村5年，5年2組教室）
 - ☆（領域C）『「鳥獣戯画」を読む』（光村6年，6年1組教室）
- 11:05～11:50 公開授業（又は模擬授業）2（6年2組の机・椅子は体育館へ移動）
 - ☆（領域C）『「やまなし」』（光村6年）の鑑賞指導 野口芳宏（体育館）
- 11:50～12:40 昼食・休憩
- 12:50～13:40 公開授業（又は模擬授業）3
 - ☆（領域A）『「マスターカード」で楽しいスピーチ』（中学1年対象，5年1組教室）
富樫忠浩
 - ☆（国語の特質）『これは簡単，文法講座』（中学2年対象，5年2組教室）小林 智
 - ☆（領域B）『読解力を育成する作文指導』（中学3年対象，6年1組教室）柳谷直明
- 13:50～14:40 公開授業（又は模擬授業）4
 - ☆（領域C）『学びて時にこれを習ふ—「論語」から—』（光村中3年，体育館）野口芳宏
- 14:55～16:15 徹底討論 『各授業は子供の学力形成にどう貢献したのか』（体育館）

9 参加費

- ① 2日間参加——事前受付7,000円。（事前受付締切日以降7,500円。1日目お握りとお茶付）
 - ② 1日目だけ参加——事前受付3,000円。（事前受付締切日以降3,500円）
 - ③ 2日目だけ参加——事前受付5,000円。（事前受付締切日以降5,500円。お握りとお茶付）
- ※ 参加する児童・生徒を6月末に募集します。各学級20名程度です。大会参加者のお子さんが一緒に参加できる場合には、参加者のお子さんを優先します。予約の際、申し出て下さい。

10 申込方法

- ① 予約申込——パソコンで次のアドレスへ予約して下さい。naoir2006@topaz.plala.or.jp
- ② 事前受付——予約された方へ手続きメールを3日以内に送信します。予約申込後の3日以内に返信がない場合には、再度問合せ下さい。事前受付締切日（平成23年7月8日）までの入金で、事前受付完了になります。事前受付を完了された方だけへ7月10日に最終案内を郵送します。

11 入金先

次へ入金して下さい。「加入者名 柳谷直明/ゆうちょ銀行振替口座[02790-7-52128] 通信欄に次を楷書でお書き下さい。

①お名前②勤務先③参加日④最終案内送付先住所。（郵便番号と自宅か学校かの明記）

12 問合せ先

鍛国研は主義・主張に偏らない国語授業を目指しています。問合せは鍛国研告知ゼミ

代表 柳谷直明（三笠市立三笠小 教頭）へパソコンで。naoir2006@topaz.plala.or.jp